

沖縄からアジア、そして世界に目を向けて、命の尊さや平和の大切さについて考えてみよう。

Q1 「沖縄平和賞」ってどんな賞？

A 私たちウチナンチュが平和を願う心を世界に伝えるために創設されたよ。

沖縄は戦争によって20万人余りの尊い命と貴重な文化財を失い、戦後も広大な米軍基地が県民生活にさまざまな影響を与えています。このような歴史体験から、沖縄県民は他のどの都道府県民よりも平和を強く求めているとも言えるかもしれません。私たちの平和への思いを世界中に広めるため、歴史的に沖縄と関わりが深いアジア太平洋地域の平和のために活動している個人や団体に、その功績を称える「沖縄平和賞」が創設されました。



OKINAWA PEACE PRIZE
沖縄平和賞ロゴマーク
「世界を見る目」「平和の波」、そしてこの賞が平和で希望に満ちた明日に「はばたく翼」になるようにというメッセージが込められています。



平和を願う心を世界に伝えよう！

Q2 どのような人や団体が受賞しているの？

A 戦争や災害、貧困で苦しむ人々を支援する活動が評価されているよ。

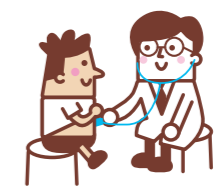
平成13年の「沖縄平和賞」創設以来、2年に一度授賞が行われ、これまで8団体が選ばれています。平成18年には沖縄県内の歯科医師を中心に設立された「沖縄・ラオス国口唇口蓋裂患者支援センター」が第3回沖縄平和賞を受賞しました。授賞対象は、例えば、貧困地域への物資援助や医療支援、紛争の平和的解決、地球温暖化防止に向けた取り組み、自国の文化やスポーツを通じた友好関係の構築など、平和につながる活動を行っている人や団体で、国内外を問いません。



第8回沖縄平和賞 授賞式

● 沖縄平和賞 歴代受賞者

回数	活動団体	活動内容
第1回	中村哲を支援するベシワール会	中村哲医師のバキスタン・アフガニスタンでの医療活動を支援。現地では病院と診療所を運営し患者診療を行っている。
第2回	特定非営利活動法人アムダ	アジア、アフリカ、中南米において戦争、自然災害、貧困等に苦しむ人々への医療救援と生活支援活動を展開している。
第3回	沖縄・ラオス国口唇口蓋裂患者支援センター	東南アジア諸国において、口唇口蓋裂患者の無料手術、技術移転や歯科医療器具の贈呈、児童歯科保健指導を行っている。
第4回	特定非営利活動法人難民を助ける会	日本で最初の難民支援のための支援団体。世界50カ国以上で地雷問題、エイズ対策など多彩な支援活動を展開している。
第5回	特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会	タイ、カンボジア、東ティモール、南アフリカなどに医師・看護師を派遣し、途上国の人々の健康に資する活動を行っている。
第6回	特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会	南アジアの貧困層の生活向上を目的に、農村での技術研修や児童のための補習教室など、地域に根ざした活動を展開している。
第7回	特定非営利活動法人ジャパンハート	ミャンマー、カンボジア、ラオス、日本国内の離島や僻地など、医療の届かないところに医療を届ける活動を行っている。
第8回	特定非営利活動法人難民支援協会	難民とともによりよい社会をつくることを目指し、日本国内での法的支援、生活支援、定住支援なども行っている。



第3回受賞「沖縄・ラオス国口唇口蓋裂患者支援センター」

Q3 私たちも沖縄平和賞に参加できるの？

A 私たちの支援募金が世界平和のための活動に役立てられるよ。

受賞者には副賞として、今後の活動費用に役立ててもらうための賞金1,000万円と記念品が授与されます。その賞金は県民からの支援募金でまかなわれています。平和祈念資料館やサンエー、リウボウの店頭に設置されている募金箱または口座振込(詳しくは沖縄平和賞委員会事務局へ問合せ ☎098-866-2500)で募金をお願いします。



Q4 平和について考えるイベントやツアーはありますか？

A 6月は糸満市や県内各地で、平和を祈るイベントが催されるよ。

6月23日の「慰霊の日」の前に、県内各地で平和について考えるさまざまなイベントが開催されます。沖縄戦終焉の地である糸満市の平和祈念公園では、23日の午前11時50分から午後0時40分まで「沖縄全戦没者追悼式」が行われるほか、22・23日の日没後には幻想的な光の祭典が行われ、戦没者の鎮魂と世界の恒久平和を祈ります。



平和の光の柱(サーチライト)

4000m上空まで届く5本の光の柱(平和の礎に刻まれる日・米・英・韓・台の5カ国・地域の戦没者を表すサーチライト)が立てられ、沖縄戦終焉の地・摩文仁の丘と天を結びます。また、平和のメッセージを書いた灯ろうを公園の池に浮かべ、平和を祈ります。



EVENT
沖縄県営平和祈念公園「平和の光の柱」
日時 6月22日(金)・23日(土)
●灯ろう流し 18時頃～21時頃最終受付
●平和の光の柱 20時頃～22時頃点灯
場所 平和祈念公園及び平和の礎



平和の光の柱(サーチライト)

「平和祈念読み聞かせ会」

日時 6月9日(土) 14時～15時30分
場所 糸満市立中央図書館 2階集会室
問合せ 糸満市教育委員会生涯学習課 ☎098-840-8163



糸満市内の小中高生による絵本の読み聞かせや、県内で文学作品の朗読活動が続ける「沖縄可否の会」による朗読など、読み聞かせを通し平和の尊さや命の大切さについて考えるイベントです。

慰霊の日関連企画展「家族を守った女性たち」

日時 6月5日(火)～7月1日(日) ※期間中は毎日開館 9～17時 (12～13時は休憩時間)
場所 豊見城市立中央図書館1階 豊見城市歴史民俗資料展示室



当時の豊見城村の女性たちの戦争体験を中心に取り上げる企画展。女性が体験した戦争を知ることで沖縄戦の実相を多角的な視点から学び、改めて平和の尊さを考えるきっかけにしてみましょう。

那覇まちま～い「命どう宝～首里の戦跡をたどる～コース」

日時 要問合せ (那覇まちま～い事務局 ☎098-860-5780)
集合場所 首里城公園内 首里社館



軍司令部が置かれた首里には、今なお戦争の傷跡が残されています。首里城地下にある第32軍司令部壕跡や戦火を耐え抜いた大アガキなど、首里の戦跡を地元ガイドと一緒に歩きます。

フラワーショップターバル「第3回 平和の木お披露目会」

日時 6月23日(土) ※木のオブジェと短冊の設置は 6月4日(月)～22日(金)
場所 カーゴス(那覇市安里2-1-1)



葉っぱを模した短冊に平和の願いを込め、木のオブジェに吊るしてみんなで「平和の木」を育てましょう。フィナーレでは、平和の祈りを書いたキャンドルのタワーに火を灯します。

今年10月に第9回沖縄平和賞の授賞式が予定されているよ。

